



平成二十一年 年頭所感

旭市長 伊藤 忠 良

新年、明けましておめでとうございます。平成二十一年の年明け、市民の皆さまには健やかに迎えにいられたことと拝察し、お喜び申し上げます。一月一日、年が新たななる、ということはありがたいことで、大晦日（みそか）から一晩たっただけで気持ちがまったく変わります。「さあ新しい年。今年もしつかりやるぞ」「今年こそ、そうした気持ちが漲（みなぎ）ります。大晦日と元旦、その区切りの持つありがたさをこの年齢（いよ）になってようやく分かるようになります。今年（ことし）の干支（し）は丑（うし）。牛（うし）で思い起こすのは、農耕（いんこう）用（よう）に使役（しやく）されていた姿（すがた）であります。田畑（いり）の耕起（こうき）をしたり、荷車（かしゃ）を付けて稲（いね）や麦（こむぎ）、芋（いも）などを運んでいた姿（すがた）を今でもはっきり覚えています。ゆつたりとして粘（ね）り強い、それが牛の特徴（とく）であります。アメリカから端（は）を発（は）した世界同時（せい）経済（けい）不況（ふきやう）、わが国（くに）にあつても大企業（だいぎや）、中小企業（ちゅうしょうぎや）を問わず、いずれも大幅（たふく）な減益（げんえき）修正（しゆしん）をよぎなくされるとき、それに連動（れんどう）して心（こ）まで沈（しず）んでしまつてはどうにもなりません。このようなときには、ゆつたりと心を強くして時期（じき）を待つ（まち）てはありませんか。牛（うし）歩（う）もまた、時には大事（だいじ）だろうと考（かん）えます。

昨平成二十年、二中の竣工（くわんこう）を待つて小中学校（しょうとんがっこう）の耐震化（たいしんか）率（りつ）八十八・一％となりました。残（のこ）すところ小学校二校、中学校二校の改築（かいしき）がありますが、全面改築（へんめんかいしき）は一校（いっこう）だけであります。できるだけ早く完成（かんせい）をさせ、生徒（せいと）児童（じどう）の安全（あんぜん）を守（まも）れるように努力（なっりょく）したいと考（かん）えています。旭中央病院（あさひちゆうやうびやういん）

の再整備（さいせいび）が始（はじ）まります。新本館（しんほんくわん）の建設（けんせつ）は、市民（しみん）の皆さんに、よりグレードの高い医療（いりやう）と職員（しやくしん）の皆さんには、より働きやすい環境（かんげい）を提供（ていきょう）したい、そして、なお一層（いっそう）の活力（かつりき）源（げん）たらんと期待（きたい）するものであります。中央病院（ちゆうやうびやういん）は市の宝（たから）であります。同時に県東部（けんとうぶ）にあつて、この病院（びやういん）の果た（はたら）す役割（やくわい）は例（れい）えようもなく大きなものであります。より一層（いっそう）の発展（はつぜん）を願（ねが）っています。昨年（さくねん）オープンしたパークゴルフ場（ばう）が、好評（こうぱう）をいただいております。健康（けんこう）づくりの場のほか、家族（かぞ）ぐるみ、年代（ねんたい）を超（こ）えた交流（かうりゅう）の場（ば）としても最適（さいしき）であります。旭市（あさひ）の文化（ぶんか）と観光情報（くわんかんじほう）発信（はつしん）委員会（いいんぎ）が設立（りゅうせき）されました。委員長（いいんぎやう）の言葉（ことば）を借（か）りますと「何（なん）の変（へん）哲（てつ）もない田園（でん）地帯（ちたい）の旭市（あさひ）だが、湖（うみ）の干拓（かんたく）により造（つく）られた耕地（こうち）、大原（おほはら）幽学（ゆうがく）先生（せんせい）の指導（しうど）による農協（のうけい）運動（うんどう）の先（さき）がけ先祖（せんぞ）株（かぶ）組合（くみあ）の実践（じっけん）」等（ら）等（ら）、そのルーツ（るーづ）は文化（ぶんか）の香（か）りに包（つつ）まれている地域（ちいき）とい（い）うこと（こと）であります。久（ひさ）しぶりに映画館（えいがくわん）がオープン（おーぷん）しました。鎌数（かまかず）工業（こうぎやう）団地（だんち）では一社（いっさ）が操業（そうぎやう）を開始（かいし）し、二社（にっさ）の進出（しんしゅつ）が決（き）まりました。「いいおか港水産（みなづか）まつり」に始（はじ）まり、「海上（かいさう）産業（さんぎやう）まつり」まで、市内（しやういん）四（よ）か所（ところ）で開（ひら）かれた産業（さんぎやう）まつりには、十四万九千人（じゅうしやうきゅうせん）もの来場者（らいばうしや）があり、旭市（あさひ）の食（け）材（ざい）を大（お）いにPR（ぷー）させていた（いた）きました。今（いま）、旭市（あさひ）には勢（せい）いがある、そう（そう）私は（わたし）見（み）てお（お）ります。世界（せかい）同時（せい）不況（ふきやう）とい（い）われる平成二十一年（へいせいじゅういちねん）、気持（き）ちをし（し）つかり持（も）つて干支（し）の牛（うし）のごとく、ゆつたりと粘（ね）り強（か）く歩（あ）む一年（いちねん）でありたい、そう願（ねが）っています。

